



平成28年9月15日

各 位

上場会社名 リオン株式会社
代表者 代表取締役社長 清水 健一
(コード番号 6823)
問合せ先責任者 常務取締役事業支援本部長 大内 武彦
(TEL 042-359-7099)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年4月28日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,500	1,000	1,000	700	57.02
今回修正予想(B)	9,200	700	700	500	40.73
増減額(B-A)	△300	△300	△300	△200	
増減率(%)	△3.2	△30.0	△30.0	△28.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	9,060	888	939	613	50.11

修正の理由

補聴器において、国内の個人消費マインドの停滞により流通在庫が膨らんだことや、円高の影響を受けて輸出が落ち込んだことなどから第1四半期の販売が伸び悩んだものの、第2四半期に入ってから回復基調にあり、当初の売上高予想を大きく下回ることは無いものと見込んでおります。しかしながら、売上高の回復に向けて従来以上に販促活動に注力した結果、販売費が増加したため、第2四半期累計期間の利益につきましては当初の予想を下回る見込みとなりました。このため、平成28年4月28日に公表した数値を修正いたします。

通期の業績予想につきましては、補聴器では、第2四半期以降の売上高が回復していることに加え、7月20日に多機種の新製品を発売したことによる販売増加が上乘せされることから、ほぼ当初の予想どおりの売上高を見込んでおります。また、医用検査機器及び微粒子計測器の販売が下期も堅調に推移するものと予想されるほか、音響・振動計測器では、平成28年度第2次補正予算の執行により下期にかけて比較的高額な受注が増加するものと予想していることから、現時点では当初の数値を変更しておりません。

なお、配当金につきましては、1株当たり中間配当15円、1株当たり期末配当15円(年間合計30円)としており、当初の予想から変更しておりません。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績はさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上